

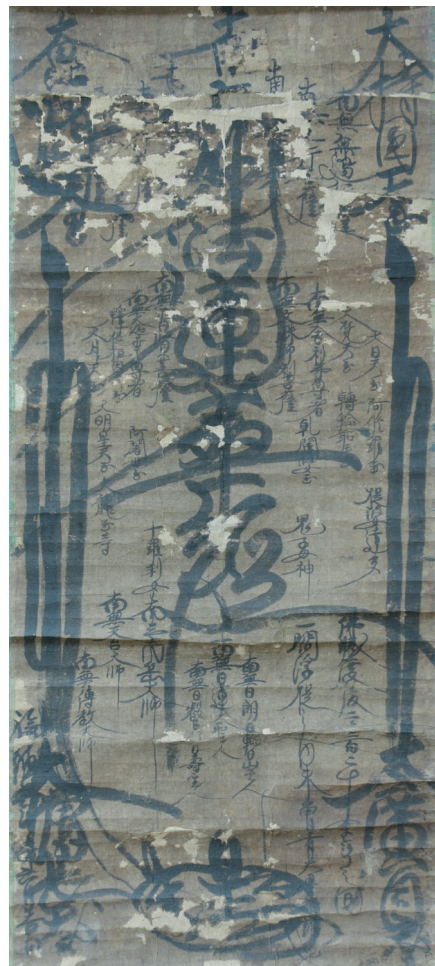
# ふくとく ねんにっしょうひつし ねんごうまんだら 福德3年日正筆私年号曼荼羅

昭和47年3月9日 八潮市指定有形文化財（書跡）

●八潮市中央3丁目19番地2（妙光寺）

妙光寺は日正によって開山された日蓮宗の寺院で、開山日正直筆の福德3年（1491）「題目曼荼羅」が遺されている。日正は比企谷妙本寺7世日寿の弟子で、文明3年（1471）に妙光寺を開山し、妙本寺別当本行院の10世となった。

本紙の大きさは縦が82.0センチ、横が35.3センチで、中央に主尊として「南無妙法蓮華経」の題目（ヒゲ題目）を置き、左右に「愛染明王」と「不動明王」を現す種子を配する。四隅には四天王が記され、題目を囲むようにその他の諸尊を配する。この題目曼荼羅には、福德3年6月吉日の紀年がみられるが、「福德」という年号は朝廷によって定められた公式の年号ではなく、一時的に関東地方の一部の豪族や寺社などで使用された私年号であり、この福德3年は、延徳3年（1491）に相当する。



◎公開の有無：非公開

◎その他の文化財：幸田一族の墓域（常時公開）

◎交通案内

- ・八潮駅北口からバス（柳之宮または伊草団地経由草加駅東口行）「上馬場」下車徒歩1分
- ・八潮市コミュニティバス西ルート（文化スポーツセンター～保健センター経由）「中央三丁目」下車徒歩1分



本図は電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成したものです。